

## 発 言 通 告 書

発言者氏名	嘉山淳平
発言の会議	平成30年 6月 6日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

### 【件名及び発言の要旨】

#### 1 災害に強いまちづくりについて

- (1) 現在の本市の津波ハザードマップは、津波浸水区域を把握する機能しかないため、その情報をもとにどこに避難すればよいか、判断する材料になり得るマップとして見直す必要があるのではないのでしょうか。そこで市長に伺います。既存の津波ハザードマップをどのように評価されておりますでしょうか。
- (2) 既存の津波ハザードマップをより汎用性が高く、住民はもちろん観光客にもわかりやすく、災害時避難等を行う際の判断材料にするために、避難施設、津波一時避難場所、防災活動拠点、避難すべきルート及び踏切等をプロットさせたものにバージョンアップすべきであると思いますが、いかがお考えでしょうか。

#### 2 規模に応じた企業誘致策の見直しについて

- (1) 企業の規模に応じた企業誘致策を展開していく必要性について、どのように認識されておりますでしょうか。
- (2) 企業誘致アクションプランの目標を達成するためにも、企業誘致策を抜本的に転換していく必要性についてお考えをお聞か

してください。

- (3) 本市における企業誘致策において、狭く限定している対象分野の幅を拡大し、多岐にわたる関連産業への支援策のメニューとする必要があると考えますが、市長のお考えをお聞かせください。
- (4) 地方税法第6条にのっとり、かつ、その企業誘致が市民の「公益の増進」に寄与することを鑑み、呼び水となるような誘致策を検討すべきではないかと考えますが、市長のお考えをお聞かせください。
- (5) 本市のベンチャー・スタートアップ企業の動向は、スタートアップオーディションなどの応募件数などを見ても毎年10件前後で推移しており、行政として旗振りに加えて、支援策のテコ入れの必要性は大いにあります。本市としてすべきことは、都心と同じことをするのではなく、本市の強みである研究開発機関を多く有することを踏まえた起業を促し、連携を進めていくことが必要なのではないのでしょうか。市長のお考えをお聞かせください。

### 3 里山的環境保全・活用事業の発展について

- (1) 横須賀の魅力を生かし地域資源を活用するための里山的環境保全・活用事業の重要性について、どのように認識しておりますでしょうか。
- (2) 今後、講習を受講された方々に里山再生事業のサポーターとして、協力をしてもらうことを促していただきたいと思いますが、市長のお考えをお聞かせください。
- (3) 市内の幼稚園・保育園や、小中学校との連携なども視野に入れて、多くの子どもたちが里山などの自然環境の中で遊び、学ぶことを促していただきたいと思いますが、市長のお考えをお聞かせください。
- (4) 本市が有する豊かな自然環境を活用したエコツアーは、グリーンツーリズムと言われるような観光産業になり得る可能性を秘めていると考えています。そこでより一層PRを行い、参加

者増に加え、受け入れ体制の拡充を図っていくべきではないでしょうか。市長のお考えを伺います。